

会報 習志野隊友

小林鷹之氏 国務大臣に就任

我が習志野選挙区（千葉2区）選出の衆議院議員小林鷹之氏が、去る10月4日、岸田新内閣の組閣において、「経済安全保障担当大臣」兼「内閣府特命担当大臣（科学技術・宇宙政策担当）」に選任された。小林氏は、わが隊友会習志野支部の特別会員でもある。同氏の国務大臣ご就任を心からお喜び申し上げます。今後の活躍をご期待申し上げます。

*

去る9月29日に行われた自民党総裁選挙の結果、岸田文雄氏が自民党新総裁に選ばれた。10月4日には、臨時国会が召集され首班指名選挙。岸田文雄自民党総裁が第100代内閣総理大臣に選出された。同日新内閣組閣。その組閣において、小林鷹之衆議院議員が新設ポストである「経済安全保障担当大臣」、兼ねて「内閣府特命担当大臣（科学技術・宇宙政策担当）」に任命



されたものである。

次いで10月31日には総選挙。自民党の勝利の結果、11月10日には第二次岸田内閣が発足し、小林氏は引き続き、経済安全保障担当大臣、内閣府特命担当大臣（科学技術、宇宙政策担当）に継続任命された。

経済安全保障の重要性は、かなり以前から識者の間で指摘されており、自民党においても幾つかの勉強会で多年議論されてきたものであるが、ことは多省庁・各業界横断の問題であり、それぞれの省庁の思惑がからみ、具体的な体制作りには至っていないのが現状であり、新たに担当大臣に任命された小林氏にとつては、正に「火中に栗を

拾う」決意での活動が期待されての任命と史料する。ご苦労が目に見えるが、我らの期待する若きホープ、小林大臣の今後の活躍を心から祈念する次第である。

*

12月に入って届けられた国政報告「小林鷹之からの手紙」(第56号)に、小林氏の最近の所信が述べられている。会員の皆様への参考になるかと思ひ、お許しを得て、以下に転載する。

「第二次岸田内閣発足」

総選挙が終了し、11月10日に第二次岸田内閣が発足。引き続き、経済安全保障担当大臣、内閣府特命担当大臣（科学技術、宇宙政策）を拝命し、公務に精力的に取り組んでいます。十月の総選挙は、私にとってこれま



での三回の選挙とは大きく異なり、大臣公務と全国の選挙応援のため、初日の出陣式を含め、私本人が地元で入れない中での苦しい選挙戦でした。しかし、多くの皆様に支えて頂いたお蔭で、15万3017票を頂くことができました。全国約300ある小選挙区の中で上位6番目となる得票数。身の引き締まる思いで、国民の皆様のために公務に邁進すると共に、国政の立場から地元の課題についても取り組みます。

今回の手紙では、私が拝命した担務について簡単に紹介いたします。

「経済安全保障担当大臣」

岸田内閣において新設されたポスト「初代大臣」となります。経済安全保障とは、一言で言えば、「経済面から国の独立、生存及び繁栄を確保すること」です。

例えば、コロナ禍で露呈したマスクや医療器具の供給網の脆弱性や、国産ワクチンの開発やデジタル化の遅れなどへの対策、国際社会の関心事である半導体の確保や先端技術・データの海外流出の防止策。このような直近の課題に加え、日本が世界にとって必要不可欠な国になるための政策など、多岐にわたる課題が含まれます。そして、他国の動向に右往左往することのないよう、わが国自身の基軸となる考え方を打ち出していきたくと考えてい

ます。皆様の日常生活や命を守り、わが国の未来を切り拓くために、私自身が先頭に立つて頑張つてまいります。

まずは、経済安全保障に関する法整備を急ぎます。先日、「経済安全保障推進会議」という閣僚クラスの会議体と、内閣官房に法制準備室を立ち上げましたので、準備を加速します(なお、同準備室の看板は、私自身が気持ちを込めて筆を執りました)。

【科学技術政策担当大臣】

岸田内閣の成長戦略の第一の柱が「科学技術立国」の実現です。真鍋淑郎先生によるノーベル賞の受賞など明るい話題もありますが、日本の置かれている現状は厳しいものがあります。世界における大学ランキングや論文数などあらゆる指標が低下の一途を辿っており、わが国の科学技術・イノベーションが岐路に立たされています。

その原因の一つが若手研究者の大学離れ。研究資金やポストがないためと言われています。研究者の件数や最新の機器の導入などの研究費が、世界に比べて少ないことが、前述のランキングにも影響してきます。また、研究成果は、数年で効いて出る場合もあれば、数十年かかる場合もあるため、研究費にも継続性が必要です。

担当大臣としては、10兆円規模の大学ファンドを速やかに立ち上げ、そ

の運用益を生むことにより研究費を捻出し、世界に伍する大学を作っていくたいと考えます。

【宇宙政策担当大臣】

宇宙はフロンティア。過去の手紙にも記したとおり、ナビゲーションシステム、天気予報、衛星放送等々、宇宙空間の利用なくして私たちの生活は成り立ちません。また、先日帰還された星出彰彦宇宙飛行士とは国際宇宙ステーションに滞在時、交信をさせていただけましたが、子供たちに夢と希望を与える世界でもあります。

既に、米国などの民間企業が宇宙での事業活動を進め始める中、私も担当大臣として、ベンチャー企業を含む日本企業が宇宙ビジネスに挑戦していくルール作りや環境整備に取り組んでいきます。

最後に、公務のため地元に戻れる時間が限られます。皆様とお目にかかる機会がかなり減ってしましますが、地域の皆様に国会に送って頂いていることの重みを胸に刻んで、仕事に邁進します。「世界をリードする国へ」。その強い思いを持って全力を尽くしますので、今後ともご指導の程、よろしくお願ひ申し上げます。

令和3年12月吉日

小林 鷹之

お知らせなど

▽ 新入会員の紹介(敬称略)

- ・廣田 勲(陸) 大久保二丁目
- ・土屋晃一(陸) 鷺沼台二丁目

▽ 会員のご逝去

- ・釜井 操様 香澄二丁目
- (令和2年ご逝去)(細部時期不詳)

ご逝去を衷心より悼み、生前のご厚誼に深謝し、ご冥福をお祈り申し上げます。

▽ 退会会員のご連絡(敬称略)

諸般の事情により、左記の方が隊友会を退会されました。これまでのご厚誼に深謝し、今後のご健勝ご多幸を祈念申し上げます。

- ・大井 哲夫 花咲二丁目
- (9月ご退会)

▽ 行事等の実施・参加

昨年に引き続き新型コロナウイルス

感染の不安が払拭できず、この半年間においても、実施・参加が予定されていた関係行事等は、軒並み、中止、延期、あるいは参加範囲を限定しての実施となった。当習志野支部においても、6月に予定していた令和3年度支部総会・懇親会を中止せざるを得なかった。

その中であって、千葉県隊友会の計画する千葉県護国神社秋季例大祭に先立つ境内清掃奉仕活動、自衛隊殉職隊員千葉県追悼式に先立つ下志津駐屯地「鎮めの庭」の周辺整備奉仕活動は例年どおり実施され、習志野支部からは、10月2日の護国神社清掃奉仕に菊地聡会員、10月30日の「鎮めの庭」周辺整備奉仕に菊地聡・渡邊誠也の2名の会員が参加した。

▽ 行事等の今後の予定

未だコロナウイルス感染の不安が払拭出来ぬ状況に鑑み、例年実施されてきた関係諸行事等の、今後の実施予定は、今のところ不明である。

ただし、毎年1月上旬恒例の陸自第一空挺団の「降下訓練初め」行事については、一般公開は中止して、隊内での年頭の降下訓練のみを執り行う旨の連絡を、既にいただいている。

末筆ながら、支部会員各位には、感染対策にこれまで以上に十分ご留意なされ、実りある日々をお過ごし下さい。